

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	高炉スラグ微粉末・高炉セメントを使用するコンクリート研究小委員会	主 査 名：鹿毛忠継 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：野口貴文
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p> 本会「高炉セメントを使用するコンクリートの調合設計・施工指針 (1978)」、 「高炉スラグ微粉末を使用するコンクリートの調合設計・施工指針(案) (1996)」 を、指針制定時からの副産物の製造技術の進歩・変遷や、建築物の設計・施工技 術の進歩、環境に関する社会ニーズの変化等に対応した見直しを行うとともに、 特に、環境性能を高めるために高炉スラグ微粉末の含有量を高めたコンクリート の研究成果等を指針に反映することを目的とする。 本研究委員会の成果として、本会「高炉スラグ微粉末・高炉セメントを使用す るコンクリートの調合設計・施工指針 (案)」として刊行し、講習会を開催し、内 容を会員および建築物の設計、施工、維持管理等の関係者に周知する。 ・初年度：①指針作成方針の討議、②関連する実験データ、資料の収集・整備 ・2 年度：①収集資料・データの分析、②指針本文内容の検討 ・3 年度：指針本文の執筆、解説案の内容の検討 ・4 年度：①指針本文、解説案の執筆・査読・完成、②指針刊行、講習会の開催 </p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし 鹿毛忠継 (国総研)、野口貴文 (東大)、檀康弘 (鐵鋼スラグ協会)、閑田徹志 (鹿 島)、小島正朗 (竹中)、兼松学 (東理大)、今本啓一 (東理大)、丸山一平 (名大)、 西脇智哉 (東北大)、濱幸雄 (室蘭工大)、神代泰道 (大林)、黒田泰弘 (清水)、 黒岩秀介 (大成)、杉山央 (宇都宮大)、真野孝次 (建セ)	
設置 WG (WG 名：目的)	2014 年度より、普及 WG、大量使用 WG (現在は、仕様 WG と性能 WG) の 2WG で活動した (2016 年度に廃止)	
2016 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：現在のところ、なし 委員会 HP アドレス：現在のところ、なし

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (幹事会を含む。また、年度内計画も含む)
刊行物 (シンポジウム資 料等は除く)	2017 年 7 月に新刊「高炉セメントまたは高炉スラグ微粉末を用いるコンクリート の設計・施工指針 (案)・同解説 (2017)」(名称予定) 刊行予定
講習会	2017 年 7 月に講習会 (東京・大阪) 予定
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. ほぼ予定どおり進捗し、目標は達成できた。 2. 刊行 (講習会) 予定 (2017.7.26 に建築会館ホール (東京) で実施予定。なお、 大阪でも開催予定 (日時未定))：2017 年 4 月入稿、7 月発刊予定)
委員会活動の問題点 ・課題	

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、
最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出する
こと。